

青少年育成センターだより

第70号 2019. 7. 15

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-23-3013



「向日葵は 金の油を 身にあびて ゆらりと高し 日のちひささよ」

前田夕暮

(ひまわりは、まるで金色の油のような真夏の陽射しを浴びながら、ゆらりと高く咲いている。太陽がなんとも小さく見えることだ)

あとわずかで、子どもたちが待ちに待っている夏休みが始まります。お父さん、お母さんにとっては、子どもが家にいる時間が長くなり、大変だと思っておられる方も多いのではないのでしょうか。

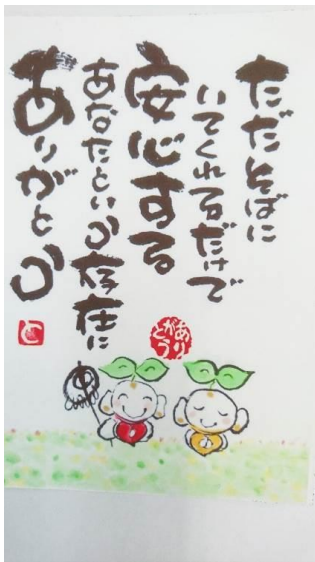


夏休みは学習面では、一学期の復習を子どもたちにさせるという大切な休みですが、たくさん時間がある夏休みを機会に、子どもにしっかり本を読ませられたらいかがでしょうか。

どんな本でもいいのですが、ここでは伝記本を読むことを勧めたいと思います。伝記本を読むことで、偉人の生き方や考え方に触れさせましょう。思わず人生の指針が得られることがあります。「本を読んで自分の人生が変わった」という人もいます。伝記本を読むことは、きっと子どもにとって有意義な時間となることでしょう。

あなたという存在にありがとう

左の写真は、市内のフリーマーケットで買った色紙です。かわいい絵とともに、書いてある文字を読んで温かい気持ちになり購入しました。



“ただそばに いてくれるだけで 安心する あなたという存在に ありがとう”

みなさんは、安心する「あなた」と言えばだれを思い浮かべられますか？人は安心できる人と一緒にいることで幸せを感じることができるのです。

赤ちゃんにとって、一番安心できる存在は“お母さん”でしょう。お母さんに抱っこされ、しがみついてすべてを委ねている赤ちゃんの姿を見た時にそのように感じます。

赤ちゃんにとってお母さんは太陽のような存在です。「泣いたら抱っこしてくれる」「お腹がすいたらお乳をのませてくれる」

「うんちをして気持ち悪くなったらおむつを替えてくれる」等、自分ができないことをお母さんが何でもやってくれる。赤ちゃんにとって、お母さんは絶対的な存在なのです。一緒にいて撫でられたり、世話をされたりして育った子どもは、自分を愛してくれる母という存在を感じ、守られているという安心感をもちます。しっかり抱いてやり、スキンシップをとることで母子共に幸福感を感じることができるのです。

「青少年育成センターだより第29号」で、究極の“ありがとう”は「生まれてきてくれてありがとう」ですと提案しました。どうですか？言ってみられましたか。その言葉を子どもに伝えられた方は、親子の絆がさらに深まったのではないのでしょうか。

「生まれてきてくれてありがとう」、そして「あなたという存在にありがとう」……。

このような素敵な言葉が家庭のなかで行き交う、温かく素敵な家庭にしましょう。